

長年の取り組みが次々結実

# 出産・子育て環境の充実へ

横浜市会議員

仁田まさとし

2022年が始まりま  
した。昨年は新しい市長  
が誕生するなど、市政に  
とって大きな変化がある  
一年でした。

## 公明党が議論リード

### 小児医療助成を拡充

今年も議会では、市長  
と是々非々の議論を交わ  
し、建設的に政策を前に  
進めていきます。特に、  
公明党横浜市会議員団が

現在、横浜市では、通  
院に係る小児医療費助成

の対象年齢が中学3年生  
まで拡充されています。  
昨年4月からは1、2歳

児の保護者の所得制限を

なくしました。今後も、

助成対象を18歳までと  
し、所得制限の廃止、一  
部負担金を全額助成へと  
拡充することを目指し、  
全力で取り組みます。

### 出産育児一時金の増額

現在、出産に要する経  
済的負担を軽減すること  
を目的に、10年10月以  
降、「出産育児一時金」  
として42万円が助成され  
ています。しかし、実際

には、これ以上の費用が  
かかっている実態がある  
ことから、公明党は、昨

年の衆院選で一時金を50  
万円に拡充することを主  
張しました。これが実現

すれば、子育て環境が大  
きく前進します。引き続  
ける取り組みを市会の中  
き、国が定める金額を増  
でも求めていきます。

### 中学校給食の喫食率向上

昨年4月から中学校給  
食がスタートしました。  
1998年に、民間委託  
による選択肢のある昼食  
「スクールランチ」を提  
案して以来、公明党が議  
論を主導して16年にデリ  
バリー型昼食「ハママ弁」  
が導入されました。それ  
を着実に進化させ、学校  
給食法上の給食と位置付  
け、選択制を基本とする  
横浜型の中学校給食が実  
現しました。

### 安定した供給体制を

スタート時点の喫食率

は生徒全体の2割でほぼ  
想定通りでした。新入生  
の保護者へ入学前に登録  
全力で取り組みます。



仁田まさとし プロフィール

- 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会
- 大都市行財政制度特別委員会(副委員長)

◇ 施政方針は「動く、創る、変える。」  
ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>  
f t ライン 情報発信中